

# 代表質問通告書

令和2年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨
1	<p>一 政 会</p> <p>小野寺道雄 (60分) 【一問一答】</p>	<p>1 一関市の持続可能な開発目標 (SDG s) の取り組みについて</p> <p>(1) 市長は、SDG sについて、どのような考えを持って、どのような施策を推進しようとしているのか伺う</p> <p>(2) 本市が賛同した「SDG s日本モデル」宣言では、官民連携パートナーシップ、民間ビジネスの力、次世代・ジェンダー平等の大きく3つの柱で構成され、地域のステークホルダー (関係者) との連携を進め、地方からSDG sを推進し、日本の「SDG sモデル」を世界に発信していくとしているが、本市では、どのような取り組みを行おうとしているのか伺う</p> <p>(3) 「誰一人取り残さない」というSDG sの理念を実現するためには、問題点を共有し、達成すべき目標を定めて、そこを起点として現在行う必要な行動 (バックキャストिंग) を決める「本市にとってのSDG s」アクションプログラムを策定し、実施することが求められるが、どのように考え、どのようなスケジュールで行うのか伺う</p> <p>(4) SDG sを推進するための取り組み体制は、どのようにするのか伺う</p> <p>(5) 2020年から始まる5年間を区切りとする第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、新しい時代の流れを力にするとして、SDG sを地方創生の原動力とすることが盛り込まれたが、1年遅れとなる本市の取り組みを含めて、市長の所見を伺う</p> <p>2 持続可能な開発目標 (SDG s) の理念を踏まえた教育について</p> <p>(1) SDG sの2030年までの目標 (ゴール) 4と共通する質の高い教育を提供するとしているが、その具体的内容とSDG sでは、目標達成に向けた10の行動目標 (ターゲット) を掲げているが、どのターゲットを目指すのか伺う</p> <p>(2) 2020年からの次期学習指導要領においては、持続可能な社会の創り手の育成が掲げられており、各教科においても、関連する内容が盛り込まれているとされているが、どのような教育活動を行おうとしているのか 課題とされていることは何かを伺う</p> <p>(3) 生涯学習の機会を促進するとしているが、SDG sでは、「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」として、10の行動目標 (ターゲット) を掲げているが、どのターゲットを目指すのか伺う</p>

2	<p>清 和 会 勝 浦 伸 行 ( 6 0 分 ) 【一問一答】</p>	<p>1 一関市の財政運営について</p> <p>(1) 合併により行財政改革を進めてきたが、勝部市政 10 年の成果について伺う</p> <p>(2) 一関市の将来の姿を描く基本が人口動態と捉える 平成 17 年の合併時から人口減少と少子高齢化が顕著となっている 財政運営においても大きな課題と認識するが、10 年後の人口推計と年齢 3 区分別人口予測とそれに伴う行財政改革の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 国は低金利政策を続けているが、当市におけるメリット、デメリットについて伺う また、この政策を受けて特にも取り組みを進めていることがあれば伺う</p> <p>(4) 電力自由化を受けて一部施設において電力供給事業者の入札を行ったが、その結果と今後の対応について伺う また、当市におけるエネルギー需要の大半は熱需要であるが、熱源を電力に集中することは、災害対応、エネルギーの利用効率など大きな課題がある また、新エネルギーの取り組みや熱源の多様化は、地域経済の活性化となるエネルギーの地産地消に向けた取り組み状況について伺う</p> <p>(5) 上下水道の維持管理には、利用者数の減少、そして施設の老朽化に伴い経営環境は今後厳しさが増すと考える 私は、広域化による運営管理が理想と思うが、考えを伺う また、下水道事業は、当市にとって大きな将来課題と認識する 早期概成の取り組みに着手したが、下水道事業は予算の重点配分を行い一日も早い完成を行い、今後の人口減少に対応できる維持管理政策が重要と考えるが、考えを伺う</p> <p>2 新たな可能性を拓く新時代のまちづくり（平泉町との合併）について 平泉町との合併は、これからのまちづくりを進める上で非常に重要と考える 旧西磐井郡時代から当市と平泉町との関係は深く、現在も消防・広域行政組合においても重要な関係にある 今後、自治体間競争が進む中、観光振興や企業誘致においてお互いのメリットを生かしたまちづくりが必要かつ重要と考える 合併についての市長の考えを伺う</p> <p>3 まち・ひと・しごとの創生（企業誘致）について 若者の地元定着が重要であると施政方針に示された まさにそのとおりであり、その実現に強力に取り組む必要があると認識する 昨年末に会派要望でも記したが、私どもの会派としては、先端的な企業誘致による就労の場と人材確保のため、新たな工業団地の整備に取り組むことを要望している 今、国内大手企業の動向として、工場の国内回帰の動きが顕著となっている アジア進出のメリットがなくなったことや「メイドインジャパン」の高品質のアピールがその大きな理由であると報道されている 当市は、企業誘致において大きな優位性があると認識するが、優遇制度や立地環境においてどういう利点があり、それをどのようにアピールし、企業誘致、事業誘致に取り組む考えなのか伺う</p> <p>4 地域資源をみがき生かせる魅力あるまち（商業・観光振興）について 一関商工会議所が要望を続けている「まちは公園」の取り組みについて伺う 一ノ関駅から一関図書館、磐井川河川敷公園、釣山公園に向かう中心市街地街路は、市民・観光客にとって歩きやすく、印象的な道が求められる うるおいや安らぎが求められる図書館を中心に、駅周辺、中心市街地には街路樹が少なく季節感も感じられない 市長が目指す「立ち話の似合うまち」は実現したのか伺う また、市民・観光客が安心してまちを散策できる安心安全な中心市街地の街路、商店街が求められるが、道路環境、防犯・交通安全施設の現況について伺う</p>
---	---	---

3	<p>日本共産党 一関市議団</p> <p>藤野秋男 (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 新年度の施政方針について</p> <p>(1) 令和の時代を当市の大きな分岐点と捉えた理由は何か</p> <p>(2) ILCの動向をどう捉え、まちづくりをどう検討するのか</p> <p>(3) ILCを基軸としたまちづくりを進めるための財政支出は市民にとってどう有効に生かされているのか</p> <p>(4) SDGsの理念を踏まえた積極的予算編成を打ち出したが、取り組むべき課題をどう捉えて取り組んでいくのか</p> <p>(5) 「中東北の拠点都市一関」と誇れる施策の基本となっているのは何か</p>
4	<p>希 望</p> <p>千葉幸男 (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 行財政改革について</p> <p>(1) 行財政改革の実績と今後の計画は</p> <p>(2) 行財政改革に伴う組織の見直しは</p> <p>(3) 広域行政組合の見直しの考えは</p> <hr/> <p>2 SDGsについて</p> <p>(1) 理念と政策の関連について所見を伺う</p> <p>(2) 政策の順位や重みについて、どのように対応しているか</p> <p>(3) 市民への周知はどのように行うのか</p> <p>(4) 小中学校などの教育現場での学習の取り組みは、どのように行う考えか</p>
5	<p>一関市議会 公明党</p> <p>岩瀬優 (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 令和2年度施政方針について</p> <p>(1) 全世代型社会保障について</p> <p>① 少子化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出生率向上の取り組みは</li> <li>・ 子育て世代への支援の拡充は</li> </ul> <p>② 高齢化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防・認知症対応の施策は</li> </ul> <p>(2) 地方創生について</p> <p>① 農林業の活性化の取り組みは</p> <p>② 人材育成の取り組みは</p> <p>(3) 防災・減災について</p> <p>① 中小河川の対策は</p> <hr/> <p>2 令和2年度教育委員会教育行政方針について</p> <p>(1) SDGs目標をどのようにして達成させるのか</p> <p>(2) 「考える道徳・議論する道徳」の推進方法は</p> <p>(3) 特別支援教育の充実は</p> <p>(4) 学校適応指導の支援強化は</p>